

報道関係者 各位



お知らせ

2012年3月26日

一般入試〔第1期〕における 出題過誤について

謹啓 平素は、本学の教育・研究活動に格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、本学におきまして2月に実施しました一般入試〔第1期〕におきまして、一部出題に過誤があったことが判明いたしました。

過誤の判明後、学内におきまして入学制度本部委員会を開き、事実確認と得点調整による合否判定を実施したところ追加合格等の該当者はありませんでしたのでご報告申し上げます。

なお、今回の出題過誤における経緯等を別紙「大谷大学一般入試〔第1期〕における出題過誤について（概要）」としてまとめましたのでご確認をお願いいたします。

もし、ご不明な点がございましたら入学センター（075-411-8114）までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

謹白

大谷大学企画課【植垣・窪田・兵頭】

電話 075-411-8115 FAX 075-411-8149

一般入試[第1期]における出題過誤について（お詫び）

本学が2012年2月7日（火）から3日間実施しました一般入試〔第1期〕の中で、8日（水）の3教科型試験の「地歴・公民」世界史におきまして、出題に過誤がありました。

受験生、保護者のみなさま、および関係者の方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げますとともに、今後はこのようなミスが起こらないよう、再発防止に努める所存です。

記

1. 概要 試験実施日：2012年2月8日（水）
合格発表日：2012年2月17日（金）
試験科目名：一般入試[第1期]3教科型 「地歴・公民」世界史
受験者数：184名（うち世界史選択者33名）

2. 過誤の内容

大問⁴

問5 下線部Eのインドシナ戦争の説明として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 1954年6月フランス軍の拠点であったディエンビエンフーが陥落した。
イ. フランスが植民地政策を復活させようとして始まった。
ウ. フランスはヴェトナム民主共和国に対抗するため、ヴェトナム国をたてた。
エ. フランスはラオスを保護国とし、インドシナ連邦に編入した。

（配点3点）

模範解答では「エ」を正答としていましたが、「ア」の「1954年6月」は正しくは「1954年5月」であったため、誤っている選択肢は「ア」と「エ」の2つとなりました。

3. 発見の経緯

3月19日に外部機関より、本学が提供した問題と模範解答に疑問があるとの問い合わせを受け、指摘された内容の確認を行ったところ、問題文の誤りであることを確認しました。

4. 対策等

過誤対応と影響

正答とする選択肢にアを加えて再採点を行い、アと解答した答案に配点の3点（世界史が最高得点であった場合は6点）を加えました。世界史選択者33名のうちアを正答とし加点した方は8名です。

この加点により、第2志望も含め、合否に影響する方はいませんでした。また成績優秀者に支給される入学試験特別奨学金の対象についても新たに該当される方もいませんでした。

受験生に対しての周知

3月23日（金）に受験者184名全員と、該当する生徒の出身高等学校に、過誤の内容とお詫びと対応についての文書を送付しています。加点した受験生8名の方には、得点に変更があったことと、この加点により合否等に変更がなかったことを記載した文書を同じく3月23日（金）付で送付しています。

再発防止について

今後は、入試問題作成にかかるチェック体制の強化に厳正に取り組み、再発防止に努力します。

以上

4

次の文章を読み、下記の問1～9に答えよ。

フランスのナポレオン3世は仏越戦争^Aの終結に伴い、1862年阮朝と条約^Bを結んだ。1863年フランスはカンボジア国王と保護条約を結び、カンボジアを保護国とし、1867年にはコーチシナ西部をも占領し、コーチシナ全域を支配下に置いた。1883年ユエ条約を結びフランスはベトナムを保護国とした。これに対し、ベトナムの宗主権を主張する清朝との間で1884年清仏戦争がおこった。1885年天津条約が結ばれ、フランスによるベトナムの保護化が承認された。1887年コーチシナ、アンナン、トンキン、カンボジアから成るインドシナ連邦が成立した。フランスの植民地支配のもとで、独立を目指して1904年維新会^Cがつくられた。

1925年ベトナム青年革命同志会^Dが中国の広東で結成され、反仏運動がおこなわれた。1940年フランスがドイツに降伏したことを契機として、日本は仏領インドシナに進駐したが、日本の敗戦後は、フランスからの独立闘争がおこなわれた。1945年ヴェトミンが全土で蜂起し、同年9月ハノイにおいてベトナム民主共和国が成立した。しかし、1946年インドシナ戦争^Eが始まり、1954年7月にジュネーヴ休戦協定が成立した。この協定で北緯17度線を境界として北部はベトナム民主共和国、南部はフランスの傀儡であるベトナム国が支配することとなった。

1955年10月アメリカの支援を受け、ベトナム共和国^Fが樹立された。そのため1960年12月南ベトナム解放民族戦線が結成され反米、反政府闘争がおこなわれた。アメリカはベトナム共和国（南ベトナム）に大量の軍事顧問団を派遣し、1965年南ベトナムに軍事的な直接介入をおこない、ベトナム民主共和国^G（北ベトナム）に対して大規模な攻撃をおこなった。これによりベトナム戦争は本格化した。

1968年1月ベトナムの旧正月（テト）に解放民族戦線と北ベトナムは、南ベトナムの主要都市で一斉攻撃をおこない、米軍と南ベトナムは撃破された。これによりベトナム反戦運動^Hが起こった。1973年1月、アメリカ軍が撤退し、ベトナム戦争は終結した。しかし、解放民族戦線・北ベトナムと南ベトナムとの内戦は続いた。1975年4月南ベトナム政府はサイゴン陥落により崩壊し、1976年ベトナム社会主義共和国としてベトナムは統一された。1986年市場経済や外貨導入などによって改革的・開放的な経済をつくるため刷新政策^Iを導入した。

問1 下線部Aの仏越戦争の説明として適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 3回にわたるビルマ戦争の発端となった。
- イ. タイのアユタヤも占領した。
- ウ. ナポレオン3世はオランダと共同出兵した。
- エ. フランスはキリスト教宣教師の弾圧を口実に出兵した。

問2 下線部Bの条約の名称を、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. アイゲン条約
- イ. サイゴン条約
- ウ. 天津条約
- エ. ボーリング条約

問3 下線部Cの維新会をつくったのは誰か。次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 阮福暎
- イ. チュラロンコン
- ウ. ファン=ボイ=チャウ
- エ. ホセ=リサル

問4 下線部Dのヴェトナム青年革命同志会をつくり、後にヴェトナム民主共和国の大統領となった人物名を記せ。

問5 下線部Eのインドシナ戦争の説明として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア. 1954年6月フランス軍の拠点であったディエンビエンフーが陥落した。
- イ. フランスが植民地政策を復活させようとして始まった。
- ウ. フランスはヴェトナム民主共和国に対抗するため、ヴェトナム国をたてた。
- エ. フランスはラオスを保護国とし、インドシナ連邦に編入した。